

海洋と宇宙の連携推進シンポジウム「海洋状況認識に有効な宇宙技術」

開催案内（第一版）

日本リモートセンシング学会幹事

日本海洋学会幹事

今回、日本リモートセンシング学会と日本海洋学会の共催で、下記の通りシンポジウムを開催することとなりましたので、ご関心のある方は、下記要領にてお申し込み下さい。

次第

1. 背景・目的：

海洋基本計画に於いて衛星利用が記載されている。また、新宇宙基本計画は本年1月に決定し、一層具体的な活動に移行するなか、グローバルコモンズとしての海洋・宇宙の連携した活動が一層期待されている。

本シンポジウムでは、海洋情報一元化を活用した海洋状況把握分野への貢献などでの海洋と宇宙の連携の強化を目的に、海洋と宇宙関係の学术交流を図ると共に、今後の分野間での連携強化にむけたアクションプランについての議論を行う。

2. 日時：平成27年3月5日（木）13時～17時

3. 場所：東京大学農学部2号館2階化学第一講義室（本郷キャンパス）

4. 主催：日本リモートセンシング学会、日本海洋学会の共催

5. プログラム（概要）：（詳細は次ページに掲載）

司会（日本リモートセンシング学会）

●開会挨拶： 日本海洋学会会長

●基調講演： 海洋状況把握等のニーズについて

●海洋状況把握等の現状並びに有効な技術について

（学術関係、JAXA、JAMSTEC 他、民間関係者より）

●パネルディスカッション

●閉会挨拶： 日本リモートセンシング学会会長

6. 参加費用：無料

< 申込み先 >

下記、専用申込みサイトより申込み下さい。（3月3日締切、所定人数に達し次第、自動的に終了となります。）

※日本リモートセンシング学会ホームページ新着情報（<http://www.rssj.or.jp/>）からもアクセスできます。

[参加登録はこちらをクリックして下さい](#)

■個人情報の取扱いについて

参加登録は、日本リモートセンシング学会の事務委託先である学会支援機構のオンライン登録システムを利用しております。個人情報の取扱いについては、同機構のプライバシーポリシー（http://www.asas.or.jp/asas_contents/about04.html）に準じて管理致します。

また、ご登録いただいた個人情報は本シンポジウム開催のためにのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

「海洋状況認識に有効な宇宙技術」

次第

1. 背景・目的：

海洋基本計画に於いて衛星利用が記載されている。また、新宇宙基本計画は本年1月に決定し、一層具体的な活動に移行するなか、グローバルコモンズとしての海洋・宇宙の連携した活動が一層期待されている。

本シンポジウムでは、海洋情報一元化を活用した海洋状況把握分野への貢献などでの海洋と宇宙の連携の強化を目的に、海洋と宇宙関係の学術交流を図ると共に、今後の分野間での連携強化にむけたアクションプランについての議論を行う。

2. 日時：平成27年3月5日（木）13時～17時

3. 場所：東京大学本郷キャンパス 農学部2号館2階化学第一講義室

4. 主催：日本リモートセンシング学会、日本海洋学会の共催

5. プログラム： ・司会 小松輝久（日本海洋学会）/渡辺 忠一（日本リモートセンシング学会）

●13：00-13：05 開会挨拶：日本海洋学会 植松 光夫会長

●13：05-13：50 基調講演：『真の海洋立国として』

古庄 幸一（総合海洋政策本部参与）

●13：50-16：15 海洋状況把握等の現状並びに有効な技術について

・13：50-14：05 海況予測における衛星観測データの利用 宮澤 泰正（海洋研究開発機構77°リサーチラボ）

・14：05-14：20 人工衛星による海洋環境観測 今岡 啓治（宇宙航空研究開発機構）

・14：20-14：35 沿岸環境のモニタリングへの利用 石坂 丞二（名古屋大学地球水循環研究センター）

小松 輝久（東京大学大気海洋研究所）

・14：35-14：50 水産での利用技術

斎藤 克弥（漁業情報サービスセンター）

<質疑10分>

・15：00-15：15 海洋データ一元化について

道田 豊（東京大学大気海洋研究所）

・15：15-15：30 AISデータとマルチメディアデータの活用について 齋藤 淳（IHS グローバル）

・15：30-15：45 衛星による海上漂流物・船舶の観測について

榎本 直人（三菱スペース・ソフトウェア 鎌倉事業部）

・15：45-16：00 衛星による海氷観測の重要性

長 幸平（東海大学情報理工学部）

・16：00-16：15 海洋ブロードバンドの現状

石井 満（スカパーJSAT 宇宙・衛星事業本部）

<レイアウト変更（5分）>

●16：20-16：50 パネルディスカッション：

「海洋状況把握」等を主とした今後の海洋と宇宙分野間の連携強化にむけたアクションプランについての議論

・モデレータ：六川 修一（東京大学工学系研究科）

・パネラー：古庄 幸一（総合海洋政策本部参与）

石坂 丞二（日本海洋学会）

赤松 幸生（日本リモートセンシング学会）

●16：50-16：55 今後の期待